



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

【参加者用】

RRC（Retired Racehorse Cup）障害馬術競技実施要項 令和5年版

2023.01.25

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

『RRC』とは、Retired Racehorse Cup の略であり、引退競走馬杯と名付けた競技である。競走馬登録されていたサラブレッドが引退し、リトレーニング後に乗用馬として用途変更した際、以下の条件を満たしている場合に出場できる馬術競技である。

目的： 引退競走馬のセカンドキャリアとして、乗馬・馬術競技は従来から最も活躍してきた場であり、その競技で好成績を収めた引退競走馬を表彰することにより、国民に馴染み深い競走馬の引退後の活躍を広く紹介することともに、乗馬、馬術の魅力を発信し乗馬のさらなる認知、乗馬人口の増大に繋げる。

また、本協会の本来の目的である、乗馬普及・底辺拡大をさらに推進すべく、大人しくて乗りやすい乗用馬資源の創生を目標とし、引退競走馬のリトレーニング技術の向上と馬に関わる人材育成のために「奨励金」等を交付する。

以上のとおり、引退競走馬のセカンドキャリアの形成の第一歩が同事業を通じて直接的に乗馬・馬術への入り口として定着することを目的として実施する。

1. 出場馬の条件

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルに血統登録（内国産、外国産を問わず）され、日本中央競馬会、地方競馬全国協会の競走馬として最終レースを令和2（2020）年1月1日以降の出走歴を持つ3歳以上の馬とする。また、未出走馬は年齢が3歳以上7歳以下とし、年齢は馬年齢（1月1日）を適応する。マイクロチップ等を用いた個体識別を行う。

競走馬として出走を終えた若いサラブレッドが出場するので、馬のウェルフェア（FEI馬のスポーツ憲章）に十分配慮すること。特に、最終出走からエントリーまでは、馬体のケアやリトレーニングのために適正な期間を設ける等の配慮をすること。

各大会とも1種目に1頭の馬が複数回出場することはできない。また、一般観戦者等に競技について理解しやすくするためオープン参加（表彰対象外の出場）は認めない。

【各大会 1 位・2 位の馬の参加条件（ファイナル大会権利獲得馬）・障害馬術競技】

同年の RRC 障害馬術競技で 1 位、2 位に入賞した馬匹は、他（複数）の大会に出場することはできない。

ただし、他競技（RRC 馬場馬術競技・RRC 総合馬術競技・RRC ファイナル競技）の出場は可とする。

2. 競技大会および競技種目

令和 5 年に開催される競技大会の中で引退競走馬のみで構成される以下の障害馬術競技とする。

下記の通り、障害馬術競技に関しては各 15 大会を予選競技として各大会の上位 2 頭（「出場辞退」などで順位繰り上げの場合あり）にファイナル競技の出場権を与え、最大 30 頭による決勝競技を行う。（ファイナル大会の出場権は馬の権利とし、騎乗者の変更は可）

競技は、日本馬術連盟（以下 J.E.F. という）競技会関連規程集（最新版）を準用する。

《予選競技》

J.E.F.小障害 B （90cm クラス）

基準 A 第 274 条 2.1～2.6（特別二段階走行競技） 11 障害 12 飛越（1 段階目 6 障害、2 段階目 5 障害 6 飛越）、分速 350m、1 種目とし、種目名は「RRC 障害馬術競技」とする。

各会場上位より 2 頭（「出場辞退」などで順位繰り上げの場合あり）に当該年のファイナル大会の出場権を与える。該当馬はファイナル大会に出場すること。

障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。なお、コンビネーション障害は 2 段階目に設置し横木のみで構成すること。

《ファイナル競技》（別途実施要項）

J.E.F.小障害 A （100cm クラス）

基準 A 第 238 条 2.2 10 障害 11 飛越、分速 350m とし、種目名は「RRC 障害馬術競技ファイナル」とする。

※競技ルールは、競技進行上、変更する場合もある。

障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。

3. 開催会場及び日程

一覧表参照

4. 出場者

① 以下の資格または同等の技量を有する者とし、安全には十分留意して、参加団体及び馬の所有者（出場申込用紙に記入）が推薦する者。

- ・本協会 乗馬指導者資格
- ・本協会 乗馬技能認定 1 級以上

- ・J.E.F. 騎乗者資格 B 級以上
- ・全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級
- ・全日本高等学校馬術連盟騎乗者資格 HB 級
- ・日本社会人団体馬術連盟騎乗者資格 A グレード
- ・日本乗馬少年団連盟 騎乗者資格中級以上

② 申し込みと同時に選手及び出場馬は、肖像権の使用に同意したとみなす。

5. 出場料

1 回 ¥10,000 各主催者に支払う。(馬匹登録料等は各主催者の実施要項に基づく)

※各大会共に参加者は、RRC 1 種目のみの出場ではなく当該大会の別種目に出場することを推奨する。

6. 奨励金

《予選競技》

- ・総額 100 万円 (優勝 40 万、2 位 20 万、3 位 12 万、4 位 7 万、5 位 6 万、6 位 5 万、7 位 4 万、8 位 3 万、9 位 2 万、10 位 1 万)
- ・クリアラウンド賞 (減点 0 で走行した人馬) 3 万円 (一時主催者立替え金)

《ファイナル競技》

- ・総額 200 万円
(優勝 100 万円、2 位 40 万円、3 位 30 万円、4 位 20 万円、5 位 10 万円)
- ・クリアラウンド賞 (減点 0 で走行した人馬) 3 万円
- ・予算の範囲内で輸送費補助を支出する

7. 表彰

1 位から 10 位までを入賞とし、大会主催者より各奨励金を交付する。

また、1 位から 3 位までにリボン (タスキ) を授与する。また、クリアラウンド賞を贈る。

表彰式は人馬による表彰式を行う (推奨)。

8. 申し込み等

別に定める「RRC (引退競走馬杯) 出場申込用紙」と各主催者の実施要項に基づいて必要な書類を指定された期日までに大会主催者へ提出すること。

9. その他

- ① 競技会を撮影した動画、画像をホームページ等で放映する。
- ② 競技開始前までにマイクロチップ等を利用して馬の個体識別を行うので、必ずマイクロチップ番号 (馬の健康手帳の表紙の裏に記載されている) を申込時に記載すること。

- ③ 失権した人馬には奨励金は交付およびリボン（タスキ）の授与はしない。
- ④ 奨励金とクリアラウンド賞の交付は、各主催者から、該当馬の所有者に対して交付する。
- ⑤ 競技終了後に出場馬の要件を満たしていないこと等が判明した場合は、奨励金等を返納し、以下順位を繰り上げて表彰する。
- ⑥ 競技開催日の5日前に本協会のホームページ上で出場順を公表する。それ以降の人馬の変更は一切受け付けない（棄権のみ）。
- ⑦ この奨励金は、JRA 日本中央競馬会の競馬振興特別助成金により実施する。

RRC 競技 2023 実施予定

2023.01.23 現在

《障害馬術競技》

No	開催日	大会名	会場	競技会名
1	4月2日(日)	福岡	福岡県馬術競技場	桜花 HORSE SHOW JUMPING
2	4月30日(日)	栃木	那須トレーニングファーム	しもつけ乗馬大会
3	5月5日(金・祝)	静岡	御殿場市馬術・スポーツセンター	Fuji spring Horse Festival
4	6月4日(日)	滋賀	水口乗馬クラブ	水口ホースショー
5	6月11日(日)	山梨	山梨県馬術競技場	RRC ジャンピング in 山梨
6	6月25日(日)	福島	南相馬市馬事公苑	東北ホースショー
7	7月9日(日)	兵庫	三木ホースランドパーク	RRC ひょうご
8	8月20日(日)	秋田	仙北市馬術競技場	東北地区乗馬倶楽部振興会地区乗馬大会
9	8月27日(日)	岡山	蒜山ホースパーク	全国乗馬倶楽部振興協会中国地区乗馬大会
10	9月23日(土)	福井	福井ホースパーク	愛馬の日馬術大会
11	9月30日(土)	北海道	ノーザンホースパーク	北海道地区乗馬大会
12	10月1日(日)	熊本	熊本県立菊池農業高等学校	ホースショーインくまもと
13	11月5日(日)	愛媛	エヒメ乗馬クラブ	四国地区大会
14	11月11日(土)	愛知	愛知県森林公園馬術競技場	東海ホースフェスティバル
15	11月19日(日)	千葉	東関東ホース&ハウンド	チャレンジジャンピング CHIBA
F	12月17日(日)	東京	JRA 馬事公苑	RRC 障害馬術ファイナル

※上記日程および会場は、新型コロナウイルス感染症等の影響により変更する場合があります。